

Smile & Heart

浜田医療センター情報誌 スマイル&ハート vol.72

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください

2026年
冬・春号



Homepage



Facebook



Instagram

Homepage <https://hamada.hosp.go.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter/>

浜田医療センターで検索!

Instagram https://www.instagram.com/hamada_medical_center/

2025 浜田駅北医療フェスタ

第79回国立病院総合医学会
(金沢)発表

さぬきメディカルラリーで学んだこと

JR総合事故対応訓練

更年期症候群について

看護学校だより

認定看護師の活動について

解剖慰霊祭／冬・春の特別メニュー

外来診療担当医表



浜田医療センターの理念

医療を通じて

「地域で生きる」を

支援する

2025 浜田駅北 医療フェスタ

基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護、福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

患者さんの権利

- ・ 人格・価値観が尊重される権利
- ・ 良質な医療を受ける権利
- ・ 十分な説明と情報を得る権利
- ・ 自己決定の権利
- ・ 個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式facebook・Instagramを作成しています。一度ご覧ください。

ホームページ

<https://hamada.hosp.go.jp/>



facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter/>



🔍 浜田医療センター で検索!

Instagram

https://www.instagram.com/hamada_medical_center/



contents

- 2~3 2025 浜田駅北医療フェスタ
- 4 第79回国立病院総合医学会(金沢)発表
 - 5 さぬきメディカルラリーで学んだこと
 - 6 JR総合事故対応訓練
 - 7 更年期症候群について
- 8~9 看護学校だよ!
- 10 認定看護師の活動について
 - 11 解剖慰霊祭/冬・春の特別メニュー
 - 12 外来診療担当医表



玄関受付
バルーン
アート



白衣で
記念撮影



ヘリポート
見学

心肺蘇生を体験しました



調剤体験しました



今年も開催しました!

10月18日(土)に浜田駅北医療フェスタ、学校祭を開催しました。当日は、どんよりとした曇りで時折晴れ間が見え、午後から雨が降ったりと何とも言えない天気でしたが、屋内・屋外のイベントへ大勢の方にご来場いただき誠に有難うございました。

各種体験コーナーや医療相談、写真撮影等たくさんの思い出を作っていただけだと思います。

ほんの一部ですがその様子を写真で紹介します。是非来年もお越しください。心からお待ちしています。

手術体験で縫合しました



手洗いチェック してみました



よさこい 鳴子おどり



石見紅ハヤテ美意人



石見紅ハヤテ美〜ん豆

同時 開催

看護学校学園祭の様子です



たくさんのご来場、

ありがとうございました



A病院の院内トリアージの質評価と課題

外来副看護師長
救急看護認定看護師

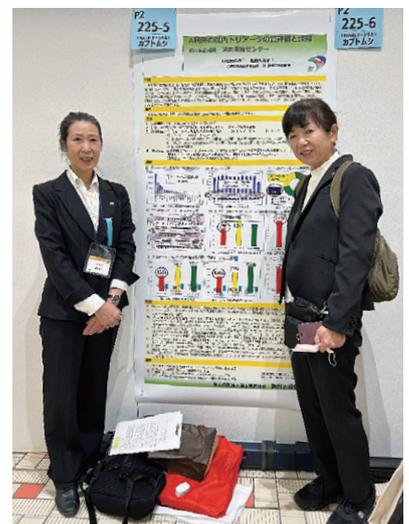
當田 晶子

2025年11月7日、8日に『輪・環、そして和—未来への「わ」の創成』をテーマに第79回国立病院総合医学会が金沢市で開催されました。会場は金沢駅周辺にある石川県立音楽堂・ホテル日航金沢・金沢市アートホールANAクラウンプラザホテル金沢・もてなしドーム 地下広場で、多くの講演や演題発表がありました。私は、「A病院の院内トリアージの質評価と課題」という演題で当院の救急外来の院内トリアージについてポスター発表をしました。

院内トリアージとは、救急外来に独歩で来院した患者さんの症状を医師や看護師が評価し、緊急度に基づいて診察の優先順位を決定する仕組みです。緊急度の高い患者さんの診察を優先して行い、患者さんの状態が悪化する危険を減らすことを目的としています。患者さんの安全を守るには院内トリアージの質の確保が重要です。今回、当院の院内トリアージの現状、つまり院内トリアージの質をガイドラインの指標と比較して評価し、課題をまとめました。

演題に取り組むことで、当院の院内トリアージの現状と課題が明確になりました。当院の院内トリアージの開始時間(患者さんが来院してからトリアージ開始までの時間)と診察応答時間(患者さんが来院してから診察開始までの時間)はガイドラインの指標を満たしていました。アンダートリアージ率(実際より軽症と判定してしまう割合)は全国平均を下回る良い結果でした。一方で、診察応答時間を詳しく調べると緊急度の高い患者さんの診察までの時間効率が悪いことや小児のアンダートリアージが多く、小児トリアージの再学習が必要なが分かりました。ポスターを作成する過程では多くの方々にご指導を頂き、自身の考えを簡明に伝えることや視覚的に分かりやすく表現するにはどうすればいいかを考える機会となりました。

発表当日は、会場で看護部長、副看護部長から声を掛けて頂き大変励みになりました。とても緊張しましたが、セッション終了後には各セッションで1題選出されるベストポスター賞を頂くことができました。指導して下さった方々や救急外来で毎日トリアージを実施している看護師への感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。今回の学会発表を通して多くの学びを得ることが出来ました。今後も、救急外来を受診する患者さんの安全を確保できるように院内トリアージの質向上を目指していきたいと思います。



タスクシフト・シェア報告「心カテ清潔操作補助」の課題と展望

診療放射線技師 田中 亨典

11月に金沢で開催された国立病院総合医学会で、当院で行っている心臓カテーテル検査のタスクシフト・シェアについてポスター発表をしました。現在、国立病院機構内では業務として行っている病院も少なく、目新しい内容ということもあってか座長賞をいただくことができました。このタスクシフト・シェアは、私たち放射線技師だけの力ではなく、当院の循環器内科医師の指導をはじめとし、カテーテル室に携わる全てのスタッフの協力と理解のもと成り立っています。このような機会を得られたことに心より感謝申し上げます。

2日間の学会期間中は自身の発表だけでなく、全国の病院での取り組み、研究発表を聴講することができ、日々の業務に活用できる内容が沢山あり、とても勉強になりました。院内で内容を共有してよりよい医療の提供を継続していきたいと思います。また、金沢には初めて訪れたのですが、お酒も料理も美味しく、早朝には兼六園を散歩するなどとても有意義な時間でした。機会があれば、全国各地の学会にも積極的に参加してみたいと思います。





さぬきメディカルラリーで 学んだこと

クリティカルケア認定看護師
DMAT隊員

岩本 典子



実践型訓練で磨く現場力

2025年10月25・26日、香川県で開催された「第19回さぬきメディカルラリー」に参加しました。

この大会は、医師・看護師・救急隊員などがチームを組み、実際の救急現場を想定した複数の症例に対応する実践型の医療訓練です。限られた時間と情報の中で、的確な判断と行動が求められるため、医療従事者にとって現場力を磨く貴重な機会となっています。

女性チームで挑戦

広島出身の私は、今回、広島にゆかりのある女性だけのチームで挑戦しました。

普段は一緒に働く機会のないメンバーでしたが、互いの得意分野を尊重し、声をかけ合いながら動くうちに、自然と信頼関係が生まれました。

緊迫した場面設定の中でも、笑顔と声かけを忘れず、柔軟かつ丁寧な対応を心がけ、「微笑みは正義」をモットーにチームワークを深めました。気遣いや思いやりを大切にすることで、女性ならではの視点を活かした活動ができたと感じています。

指揮をとる難しさと学び

各メンバーが順番にコマンドー（現場の指揮者）を務め、全体を見ながら指示を出す難しさを体験しました。限られた情報の中で優先順位を決め、的確な指示を下すには、チーム全員の協力と信頼が欠かせません。

また、普段から現場で活動されている消防・救助隊の方々の冷静さや統率力の素晴らしさを改めて感じました。

結果と学びを地域医療に活かす

今回のラリーでは、患者さんへの対応だけでなく、家族や通行人、警察など周囲への配慮も求められました。

状況を見極めながら行動することの大切さを強く実感し、チーム全員がそれぞれの役割を果たすことで、最良の判断と連携につなげることができました。その結果、私たちのチームは優勝という嬉しい成果を得ることができました。

生命と向き合う時間

大会期間中に行われた「臓器移植」をテーマとした講演では、「生きるとは何か」「生命をつなぐとはどういうことか」という深い問いに向き合いました。

日々の医療現場で患者さんやご家族と心を通わせながら向き合う姿勢を大切にしよう、改めて感じる時間となりました。

出会いは必然

さぬきメディカルラリーのコンセプトは「出会いは偶然ではなく必然である」。

今回の経験を通して出会った仲間や講師の方々、そして多くの学びは、まさにこの言葉の通りでした。

ひとつひとつの出会いが、自分の成長や地域医療への貢献につながる「必然」だったと感じています。

これからも知識や技術を磨きながら、地域の皆さんに安心していただける医療を目指し、活動を続けていきたいと思えます。



浜田医療センターDMATチームが参加してきました



傷病者1名が赤(最優先治療群)エリアに運ばれました



つづいて、黄(非緊急治療群)エリアに運ばれた傷病者の処置にあたります



傷病者が多く運ばれたため手分けして処置にあたっています

2025年度 浜田地区連絡会 総合事故対応訓練

診療看護師

田向 宏和

2025年10月9日にJR西日本浜田鉄道部による総合事故対応訓練に参加しました。列車と車の衝突事故を想定し、多数の傷病者への対応訓練でした。外傷患者が予想されるため、処置に必要な物品を事前に準備し、野外での活動のためヘルメットと安全靴を着用しました。

医師1名、看護師1名、業務調整員2名の編成でチームを組み、出勤要請があったのちに、現場へ向かいました。現場到着後は、消防の現場指揮所に向かい現場の状況を確認し業務調整員1名を指揮所に配属し、搬送された患者が現場近くの救護所に集まるためそこの活動を開始しました。

多数傷病者が発生した場合、トリアージが行われます。トリアージとは、災害時などに多数の傷病者が発生した場合に、傷病者の緊急度や重症度に応じて治療の優先順位を決定することです。列車内で活動している消防隊によってトリアージされたのちに、救護所に搬送される重症患者を中心に必要な医療処置を行いました。救護所はあくまで一時的な待機場所なので、迅速に病院へ搬送することが重要です。医療処置と同時並行して患者搬送手段を指揮所の業務調整員と連絡し、患者の優先順位をつけます。搬送手段は救急車だけでなく、浜田医療センターで受け入れできなければ、広域搬送が必要になるためドクターヘリの要請も必要となります。そのため、救護所でもトリアージをして患者選定を行い、指揮所と連携して搬送先を決めます。

今回はチーム編成で看護師が1名でした。対応できる患者数も限られており、多数傷病者が出る事故では多数のチームでの対応が必要だと実感しました。また、事故現場での対応では患者を受け入れる病院側として現場と情報共有を行い、重症および中等症の患者をそれぞれ何人受け入れできるのかを考える必要があります。受け入れをするためには、救命救急センターや必要に応じて手術室の準備もしなければならないため、そういった想定訓練も今後の課題として考えていく必要があると思います。そのためには今回のような訓練を通して、各機関と密に連携が取れる関係性を築いていくことが重要だと感じました。

更年期 症候群

産婦人科

について

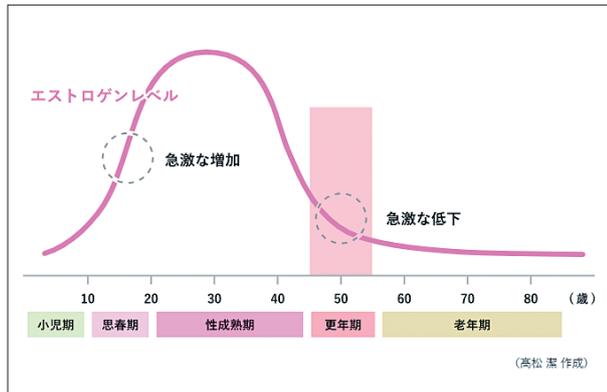
産婦人科医長 片桐 浩

更年期は、女性なら誰もが経験する大切な人生の節目です。一般的には閉経の前後5年間、約10年間のことを指します。日本人女性の平均閉経年齢は50歳前後ですので、だいたい45歳から55歳くらいの時期を指します。この時期に現れるさまざまな不調によって日常生活に支障が出てしまう状態、これを「更年期症候群」と呼んでいます。

なぜ症状が現れるのか



更年期症候群が起こる一番の原因は、卵巣の働きが衰えることで女性ホルモン、特にエストロゲンが急激に減ってしまうことが原因です。エストロゲンは月経や妊娠・出産に関わるだけでなく、脳や血管、骨、皮膚など、体のいろいろな場所で重要な役割を果たしています。エストロゲンが減少してくると、体の様々なところに影響が出てきます。



【図1】大塚製薬HP 女性の健康推進プロジェクトより抜粋

主な症状

更年期の症状は個人差がとても大きいです。よく見られるのは、ほてりやのぼせ(ホットフラッシュと呼ばれます)、急に汗が出る、動悸がする、めまいがする、頭痛がするといった「体の症状」と、それに加えて、イライラしやすくなったり、なんとなく不安になったり、気分が落ち込んだり、夜よく眠れなくなったりといった「心の症状」も出てきます。しかも、日によって症状の強さが変わることも珍しくありません。

対処法



更年期症候群の治療法は、症状の重さやその方の生活スタイルに合わせて選んでいきます。ホルモン補充療法(HRT)という、減ってしまったエストロゲンを薬で補う方法は、多くの症状に効果的です。他にも漢方薬が有効なこともあります。症状によっては向精神薬を用いることもあります。

薬物療法だけではなく、日々の生活習慣を見直すことも大事なポイントです。栄養バランスのとれた食事を心がける、無理のない範囲で体を動かす、しっかり睡眠時間を確保することで、症状が和らぐことも多いです。大豆製品に含まれるイソフラボンは女性ホルモンに似た働きをします。骨を丈夫に保つためのカルシウムも大切です。

我慢せずにご相談を

「更年期の症状なんて、みんなあるものだから」と我慢されている方も多いと思われるかもしれません。そして更年期だと思い込んでいた症状が、実は甲状腺の病気や他の病気のサインだったということもあります。

何か気になる症状があったら、遠慮なくかかりつけ医の先生、婦人科で相談してみてください。更年期というのは、人生の新しいステージへと移り変わっていく大切な時期です。きちんとケアをして、この時期を前向きに、健やかに過ごしていきましょう。

【図2】簡略更年期指数

症状	強	中	弱	無
①顔がほてる	10	6	3	0
②汗をかきやすい	10	6	3	0
③腰や手足が冷えやすい	14	9	5	0
④息切れ、動悸がする	12	8	4	0
⑤寝つきが悪い、または眠りが浅い	14	9	5	0
⑥怒りやすく、すぐイライラする	12	8	4	0
⑦よくよしたり、憂うつになることがある	7	5	3	0
⑧頭痛、めまい、吐き気がよくある	7	5	3	0
⑨疲れやすい	7	4	2	0
⑩肩こり、腰痛、手足の痛みがある	7	5	3	0

小山ら 更年期婦人による漢方治療簡略化した更年期指数による評価
産婦人科漢方研究のあゆみ1992より

更年期指数の自己採点の評価法(合計点)

- 0～25点** 上手に更年期を過ごしています。これまでの生活態度を続けていましょう。
- 26～50点** 食事、運動などに注意を払い、生活様式などにも無理をしないようにしましょう。
- 51～65点** 医師の診察を受け、生活指導、カウンセリング、薬物療法を受けた方がいいでしょう。
- 66～80点** 長期間(半年以上)の計画的な治療が必要でしょう。
- 81～100点** 各科の精密検査を受け、更年期障害のみである場合は、専門医での長期的な対応が必要でしょう。

看護学校だより



浜田医療センター附属看護学校(はまかん) <https://hamada.hosp.go.jp/hamakan/>

ホームページ

駅北医療フェスタと共同で学校祭が行われました

10月18日、駅北医療フェスタと共同で学校祭が行われました。「繋がる笑顔。広がる未来」をテーマに、地域の方々や病院職員とのつながりを大切にしたいという思いから、学生が主体となって企画・運営を行いました。

会場では、昨年と同様に縁日をはじめ、おおぞら保育園の園児による発表や、DUNCE UNIT “FREE”によるダンス、浜田商業高等学校郷土芸能部による石見神楽の演舞などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

また、今年は初めての企画として「ナイチンゲールカフェ」を開催し、白衣を着た学生がドリンクやケーキなどの販売を行いました。さらに、お化け屋敷も企画され、子どもから大人までスリルを楽しめる内容となっていました。

本校は浜田医療センターをはじめ、地域の病院や診療所、福祉施設など多くの実習施設に支えられています。今後も、地域の方々とのつながりを大切にし、地域に根差した看護を提供できるよう看護学生の育成に取り組んでまいります。



ナーシングセレモニーが開催されました

10月、1年生を対象にナーシングセレモニーが行われました。学生一人ひとりが教員から燭台を受け取り、ナイチンゲール像を介して先人の思いを受け継ぐ「継火」を行いました。その後、これから実習でお世話になる病院や施設の方々、保護者、教職員、在校生に向けて、これから看護職を目指す者としての誇りと責任を胸に、誓いの言葉を述べました。

続いて、これまでの学習成果の発表が行われました。6月と10月に行われた民泊実習での学びや、血圧の仕組み、測定時の留意点について学生が説明し、保護者の方に実際に血圧測定を体験していただきました。1年生は1月



からの基礎看護学実習Ⅰ(その2)が始まり、病棟の指導者とともに、患者さんへの体温・血圧測定や、清拭などの援助を行っています。今後も学習や演習、実習を通して理想とする看護師像に向かって着実に成長できるよう、教職員一同支援してまいります。



島根県の子どもの未来へ!

12月、学生自治会から島根県共同募金へ「しまね子どもの未来応援募金」の寄付を行いました。この募金は、島根県内で生きづらさを抱える子どもたちを支援している団体へ届けられ、子ども食堂のネットワークづくりや食材費の助成、ヤングケアラーや学校へ行けない子どもたちの居場所づくりなどに役立てられています。

看護学校では、看護に必要な社会保障制度や福祉事業について学ぶ中、地域で起こっている問題や課題について考える機会を大切にしています。今回は、子どもの貧困に着目し、学生が「地域の方へできることは何か」を考え、募金活動を行いました。このほかにも、学生は浜田市内をはじめ島根県内で、主体的にボランティア活動に取り組んでいます。

ボランティア参加状況については学校のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



Instagram・TikTokにも
掲載しています。ぜひご覧ください

浜田医療センター附属看護学校
イメージキャラクター「ハママちゃん」



@HAMAKANGAKKOU

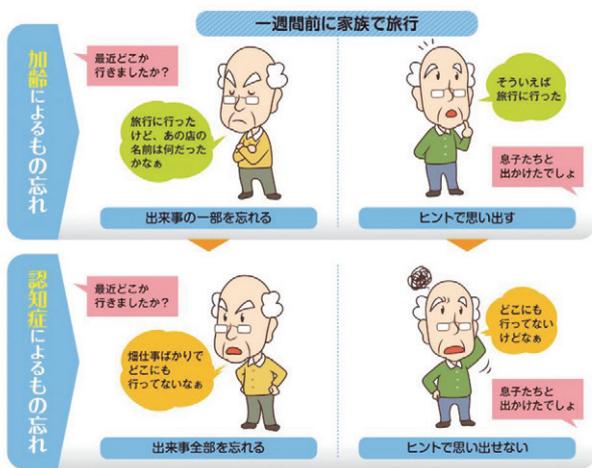


『認知症とはどんな病気か ご存じですか?』



認知症看護認定看護師 谷川 裕子

皆さん、認知症とはどのような病気かご存じでしょうか? 認知症の症状は多くありますが、物忘れを主症状として日常生活を今までのように過ごすことが難しくなった状態のことを言います。物忘れは、加齢による物忘れと認知症による物忘れがあります(図1参照)。



【図1】 出典:おおい認知症情報サイトおれんじより引用

加齢による物忘れは、体験の一部を忘れヒントを与えられると思ひ出すことができます。認知症の疑いがある物忘れは、体験全体を忘れてヒントを与えても思ひ出すことができず物忘れの自覚がないという症状の違いがあります。

私は認知症看護認定看護師として認知症の方が当院へ入院した際に治療を安心して受けられるように多職種でチームとなって活動しています。今年度11月には『認知症について』をテーマに市民公開講座を開催しました。

MCI (軽度認知障害について)

近年、軽度認知症の段階で治療をすることが可能になっています。軽度認知障害は、自分自身で気づく自覚症状になります。日々の生活で約束事を忘れて、今までは問題なくできていた仕事や、作業にとまどうようになり、その影響から集中力、やる気が低下する症状があります。

認知症との違いは、記憶障害を認めるけれど、日常生活機能は正常であることが特徴となります。軽度認知障害のチェックシートを資料として載せています(図2参照)。

【軽度認知障害のチェックシート】

- 同じことを何度も言ったり聞いたりする
- 物の名前が出てこなくなった
- 置き忘れやしまい忘れが目立ってきた
- 以前はあった関心や興味が失われた
- だらしくなった
- 日課をしなくなった
- 時間や場所の感覚が不確かになった
- 慣れた場所で道に迷った
- 財布などを盗まれたと思ひ込む
- 些細なことで怒りっぽくなった
- 蛇口やガス栓の締め忘れがある
- 複雑なテレビドラマが理解できない
- 夜中に急に起き出して騒ぐ



【図2】 出典:国立長寿医療研究センター「認知症チェックリスト」

気になる方はチェックしていただき、当てはまる症状が3つ以上あればかかりつけ医、または専門医受診することをお勧めします。来年度も市民公開講座を開催する予定なので、ぜひ多くの方に参加してほしいと思っています。

入院することでの認知症への影響

認知症のある方が入院すると慣れた生活の場と環境が大きく変わるため不安が強くなります。鍵や財布、携帯電話がどこにあるか分からなくなり帰ろうとしたり、周りには知らない人達ばかりでソワソワして落ち着かなかったり、家と違い刺激が少なくて昼と夜が逆転することもあります。当院では少しでも安心できる環境を提供するため、入院時には普段使用している時計やカレンダーを持ってきてもらうようお願いしています。時間や日付の認識を補い、カレンダーには入院した日や手術を受けた日、退院予定日などを記載させてもらい安心への支援の目的で持参してもらうように説明させてもらっています。今後も安心して入院生活が過ごせるように活動を継続していきたいと思っています。

令和7年度 解剖慰霊祭を執り行いました

専門職 小林 史明

令和7年度解剖慰霊祭が11月28日にしめやかに執り行われました。解剖慰霊祭は、当院でお亡くなりになられ、死因や病態の正確な解明と医学・医療の発展のためにご遺体を提供していただいた故人に対し、ご冥福を祈願するためのものです。

当日は、ご遺族、職員、看護学校教員、看護学生が参列しました。まず全員で黙祷し、続いて栗栖院長による慰霊の詞が述べられました。最後に参加者全員による献花を行いました。当院職員一同、ここに謹んで追悼の意を表し、御霊の安らかならんことをお祈り申し上げます。



冬・春の特別メニュー

栄養管理室

入院されている皆様の食事サービス向上のため、特別メニューとして趣向を凝らしたお料理をご用意させていただいております。

お料理の内容は、旬の食材や地元の特産品を使用し、季節の味わえる内容に仕上げ、御品書きには、使用している食材の栄養成分についてや、それぞれの料理に込めた思いを添えさせていただいております。

季節ごとにメニューを更新し、旬の食材をはじめ、注目を集めている食材や調理法を取り入れていきたいと思っております。ぜひ一度お試しください。

特別メニューは

- 実施日 夕食 曜日ごとに病棟交代
 ㊦ 3北・3南 ㊧ 4北・4南
 ㊨ 5北・5南・緩和
- 対象 並菜の患者さん
 ※先着5名様まで(アレルギー等の対応はできません)
- 料金 別途1,000円(税込み)いただきます。

※主治医の許可が必要なためお断りする場合がありますのでご了承ください。
 ※1/1-1/3、3/3、7/7、9月第三月曜日、計画停電の日、12/24は除きます。



献立

冬

- 鱈のペスカトーレ
- 牛ロースステーキ 温野菜添え
- カブのクラムチャウダー
- パン盛り合わせ
- ガトーショコラ

献立

春

- 牛ほほ肉の炊き合わせ
- 鯛のムニエル バジルソース
- 刺身蒟蒻のサラダ
- 桜エビの炊き込みご飯
- あさりと落のコンソメスープ
- デザート盛り合わせ

浜田医療センター 外来診療担当医表

令和8年2月1日現在

診療科	診察室	月	火	水	木	金	備考
総合診療科	初診	北條 宣政	—	—	—	松田 花子	初診は月曜日・金曜日のみ
	再診	北條 宣政	松田 花子	北條 宣政	—	松田 花子	
膠原病内科		—	—	—	島根大学医師 ※	—	※第2・第4・第5水曜日 本田学
関節リウマチ外来		—	近藤 正宏 ※	—	—	—	※ 隔週火曜日 紹介患者のみ
血液内科		—	島根大学医師 ※1 ※2	—	島根大学医師 ※1 ※2	—	※1 初診は紹介患者のみ ※2 診療時間 9:30~
腎臓内科		岩下 裕 ※1	担当医 ※2	担当医 ※2	特殊検査・手術	担当医 ※2	※ すべて予約のみ ※1 診療時間9:30~12:00 ※2 紹介患者のみ ※3 診療時間13:00~
特殊外来		シャント外来 ※3	シャント外来 ※3	シャント外来 ※3	シャント外来 ※3	シャント外来 ※3	※1 週ごとに交互実施 ※2 隔週水曜日
内分泌・代謝内科		山尾/島根大学医師 ※1	—	山尾 有加 ※2	山尾/島根大学医師 ※1	—	※1 初診は紹介患者のみ ※2 診療場所F11 ※3 診療場所E9
呼吸器内科	1診	河角 敬太 ※1	柳川 崇 ※1	特殊検査日 (休診)	柳川 崇 ※1	柳川 崇 ※1	※1 1月2回の診療 ※2 第2木曜午後
	2診	津田 洸旬 ※1 ※2	島根大学医師 ※1 ※3	—	河角 敬太 ※1 ※3	加藤 将 ※1 ※2	
脳神経内科		—	島根大学医師	島根大学医師 ※1	島根大学医師 ※2	—	—
消化器内科	初診	大屋 聡	生田 幸広	齋藤 宰	古田 晃一郎	木下 泰仁	
	再診	木下 泰仁	大屋 聡	古田 晃一郎	齋藤 宰	生田 幸広	
循環器内科	初診	安田 優 ※	特殊検査日 (休診)	古原 聡 ※	特殊検査日 (休診)	明石晋太郎 ※	※ 紹介患者のみ
	再診	古原 聡	—	明石晋太郎	—	安田 優	
午後外来		ペースメーカー外来	—	失神外来	—	—	—
小児科	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	※ 外来担当医:平出智裕・青木萌子・石本千夏
	再診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
午前予約外来		—	予防接種 ※1	—	—	—	※1 1才以上 診療時間10:00~ 1才未満 診療時間13:30~
午後予約外来		フォローアップ外来 (再診)	フォローアップ外来 (再診)	フォローアップ外来 (再診)	フォローアップ外来 (再診)	1か月健診 ※2	※2 診療時間13:00~ 完全予約制
特殊外来		—	—	—	—	—	※3 毎月第3木曜日 完全予約制 ※4 毎月第1・第4木曜日 完全予約制
		—	—	—	神経外来 ※3	—	
外科	1診	栗栖 泰郎	栗栖 泰郎	漆原 正一	渡部 裕志	高橋 節	※1 予約のみ ※2 診療時間9:00~11:00
	2診	—	永井 聡	原 和志	永井 聡 ※1	—	
特殊外来		ストーマ外来 ※2	—	—	—	—	—
乳腺科		吉川和明 ※1	—	鳥取大学医師 ※1 ※2	—	—	※1 予約のみ ※2 第1・第3・第5水曜日
整形外科	1診	桑田 卓	柿丸 裕之	—	柿丸 裕之 (脊椎外来)	—	
	2診	青木 伸明	桑田 卓	—	猪木迫 彩香	—	
	3診	—	本田 健	—	—	—	
形成外科		担当医 ※1 ※2	—	—	—	—	※1 毎月第1・第3月曜日 担当医:松江日赤医師(診療時間10:30~) ※2 毎月第2・第4・第5月曜日 担当医:島根大学医師(診療時間 9:30~)
脳神経外科		江田 大武 ※	手術日(休診)	木村 麗新 ※	—	内村 昌裕 ※	※ 初診は紹介患者のみ
呼吸器外科		手術日(休診)	大野 貴志	藤田 朋宏 ※	手術日(休診)	大野 貴志	※ 再診のみ
心臓血管外科		—	手術日(休診)	大月 優貴	手術日(休診)	大月 優貴	—
皮膚科	午前	—	—	島根大学医師	鳥取大学医師 ※1	—	※1 診療時間8:30~11:00 初診は紹介患者のみ ※2 予約のみ
	午後	島根大学医師 (褥瘡回診)	—	—	特殊検査 ※2	—	
泌尿器科	1診	手術日 (休診)	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	
	2診	—	三谷 一貴	三谷 一貴	三谷 一貴	三谷 一貴	
産婦人科	1診	片桐 浩	山根 愛里香	榎原 貴	榎原 貴	片桐 浩	※1 診療時間13:00~15:00
	2診	山根 愛里香	榎原 貴	片桐 浩	山根 愛里香	榎原 貴	
午後予約外来		—	—	—	—	産褥外来 ※1	—
耳鼻咽喉科		鳥取大学医師 ※1	—	—	—	鳥取大学医師 ※1	※1 診療時間8:30~11:00 初診は紹介患者のみ ※2 受付時間13:00~15:30 診療時間13:00~15:30
	午後外来	—	—	—	鳥取大学医師 ※2	—	
放射線科		吉田弘太郎	特殊検査日(休診)	特殊検査日(休診)	特殊検査日(休診)	吉田弘太郎	—
緩和ケア外来		—	担当医 ※	—	—	—	※ 診療時間 13:30~15:00
リハビリテーション科		—	—	岸 咲貴子	—	—	診療時間9:00~12:00 院内紹介のみ
麻酔科		担当医 ※	—	—	担当医 ※	—	※ 診療時間 9:00~ 術前診療のみ
歯科口腔外科		都田絵梨奈 ※	都田絵梨奈 ※	手術日	都田絵梨奈 ※	都田絵梨奈 ※	※ 初診は紹介患者のみ

診療受付時間／午前8時15分～午前11時00分(再来受付機は午前8時から稼働)

原則予約制

- ★ 紹介状をお持ちの方は地域医療連携室を通して予約をお願いします。
- ★ ご予約がない場合は、来院日に診療が受けられない場合もございますのでご了承ください。

2026年が始まりましたね。皆様はどんな1年にしたいですか。
まだまだ寒い日が続きますが、身体には気を付けて頑張ってください。
(M.N)

